

応援します！#パートナーシップ構築宣言

ひとつふりに、からだ想う。ふりかけの田中食品

■ 「子を想う親心」から生まれたふりかけ

「旅行の友」でお馴染みの田中食品株式会社は、1901年に呉で創業。戦時中、栄養不足により「かけ」で亡くなる兵隊さんが多かったため、「栄養価が高く、持ち運べて日持ちする保存食を」ということで、1904年にふりかけの元祖「旅行の友」が誕生した。

「旅行の友」の「トモ」は創業者の妻の名前から付け、息子を戦地に送る際にもこの「旅行の友」を持たせるなど、まさに「子を想う親心」から生まれたのである。

現在では、田中食品のふりかけラインナップは170点にものぼる。



■取引先と一緒に歴史を作り上げる

タナカのふりかけは、美味しく健康をキーワードに「素材の持ち味を活かす」ことが大事であると社長は言う。創業からの「田中食品の味」を守るため、味の調合・乾燥方法などにこだわり、原料を仕入れた後の多くの製造工程を自社で行っている。

そして、原材料を納入している取引先の存在も欠かせない。取引先とは、常に「思いやりと感謝の心」を持って接しており、長く、お互いに信頼を重ねていくことを大切にしている。

現在の取引先も、品質を重視しているメーカーばかり。商品への想いが強いメーカーと取引をし、歴史と一緒に築き上げていくことができる信頼関係を大切にしている。「広島ふりかけ」のラインナップでは、広島の特産食品企業ともコラボしており、パッケージにコラボしている企業の商品写真を掲載し、お互いの直営店で販売するなど、相乗効果を生み出している。

品質をより高く保つために、サプライチェーン全体での最適化も図っており、必要に応じて内製化と外注の工程変更を行うなど、自社と取引先のそれぞれの得意領域を活かしたふりかけ製造に取り組んでいる。

■ 「子を想う親心」から、「平和を想う心」へ

“広島で創業している以上、自分たちも「平和」を発信していかないといけない。”そんな先代の想いも胸に、広島から世界に向けて、ふりかけを通じて「平和」を発信している。

世界的にも和食ブームが広がる中、「ふりかけ」を通じて世界中の人々に平和を届けたいという想いから、「タナカのふりかけプレミアムギフトセット」が開発された。

このふりかけ容器は、SDGsの考え方も大切にしており、ふりかけ容器として役目を終えた後も、思い出として末永く手元に残るようビンで設計されている。また、ふりかけの味が記載されたラベルを剥がすとビンに描かれた広島の海、宮島・厳島神社の風景が現れるという粋な仕掛けも施されている。



「子を想う親心」は、「平和を想う心」へと。これからもふりかけを通じて「平和」を発信していく。

【会社概要】

会社名：田中食品株式会社

所在地：広島県広島市西区東観音町 3-22

パートナーシップ構築宣言日：2024年3月18日

■担当者の一押しポイント

タナカのふりかけ「旅行の友」は、ふりかけの元祖である。「子を想う親心」から生まれたふりかけは、素材の味、地域への想い、そして平和への想いが込められた、こだわり深いものであった。こういった考え方方が「取引先へのおもいやり」にも繋がるものであると感じた。

